

令和1・2年度国際共同研究「2025年に向けた財政・社会保障制度に関する研究
－持続可能な制度と市場の再構築を目指して－」
(2025年以降に向けた国民の安心と関連制度の持続可能性に関する研究)
最終報告会の概要
(令和3年1月開催)

開 会

主催者挨拶：井野 靖久 内閣府経済社会総合研究所長
主査挨拶：山重 慎二 一橋大学大学院経済学研究科教授

セッション1 “Households’ Responses to Childcare Fees: Childcare Usage and Parental Labor Supply”

発表者：深井 太洋 内閣府経済社会総合研究所研究官
近藤 絢子 東京大学大学院社会科学研究所教授
討論者：朝井 友紀子 Postdoctoral Researcher and Instructor, Harris School of Public Policy, University of Chicago

セッション2 “An Analysis of the Labor Supply of Childcare Providers”

発表者：朝井 友紀子 Postdoctoral Researcher and Instructor, Harris School of Public Policy, University of Chicago
地曳 暁瑛 Master’s Program, Harris Public Policy, University of Chicago
討論者：近藤 絢子 東京大学大学院社会科学研究所教授

セッション3 “Endogenous Fertility and Social Security”

発表者：安岡 匡也 関西学院大学経済学部教授
討論者：山重 慎二 一橋大学大学院経済学研究科教授

セッション4 “Aging and Wages of Long-term Care Workers: A Case Study of Japan, 2002-2017”

発表者：山田 篤裕 慶應義塾大学経済学部教授
石井 加代子 慶應義塾大学経済学部特任教授
討論者：臼井 恵美子 一橋大学経済研究所教授

セッション5 “The Effects of Providing Childcare on Grandmothers’ Employment and Mental Health in Japan”

発表者：上野 有子 内閣府政策統括官(経済財政分析担当)付参事官(海外担当)
臼井 恵美子 一橋大学経済研究所教授
討論者：山田 篤裕 慶應義塾大学経済学部教授

セッション6 “Considerations Regarding Work System Reform in the Situation of Uneven Distribution of Doctors”

発表者：高橋 泰 国際医療福祉大学大学院医療経営分野教授
討論者：野口 晴子 早稲田大学政治経済学術院教授

セッション7 “Effects of Local Physician Concentrations on Physician Labor Supply and Career Trajectories: Evidence from Longitudinal Microdata in Japan”

発表者：水島 裕二 早稲田大学大学院経済学研究科
野口 晴子 早稲田大学政治経済学術院教授
川村 顕 神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授
討論者：高橋 泰 国際医療福祉大学大学院医療経営分野教授

セッション8 “Population Aging and Impact on Industrial Structure in Japan : a Perspective of a Multi-Sector OLG-CGE Model”

発表者：木村 真 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授

討論者：北尾 早霧 東京大学大学院経済学研究科教授

セッション9 “Foreign Workers, Skill Premium and Fiscal Sustainability in Japan”

発表者：北尾 早霧 東京大学大学院経済学研究科教授

山田 知明 明治大学商学部専任教授

討論者：木村 真 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授

セッション10 “Making Japanese Society More Resilient: To Improve Sustainability of Social Security in Japan”

発表者：山重 慎二 一橋大学大学院経済学研究科教授

討論者：安岡 匡也 関西学院大学経済学部教授

コメント1 “An International Comparison of Family Policy and Women’s Economic Participation”

発表者：Willem ADEMA, D.Phil Senior Economist, OECD Social Policy Division

コメント2 “Increasing the Sustainability of Long-term Care in an Ageing Society: Lessons from the Netherlands”

発表者：Frederik T. SCHUT Professor, Erasmus School of Health Policy & Management, Erasmus University Rotterdam

コメント3 “Social Security Systems -A Discussion on Pensions and an Aging Workforce”

発表者：Stefanie KÖNIG Researcher at the University of Gothenburg and the Center for Ageing and Health

講評 山重 慎二 一橋大学大学院経済学研究科教授

※ここに記載している発表者らの肩書きは、報告会開催当時のものである。

経済社会総合研究所の概要

経済社会総合研究所 (Economic and Social Research Institute : 以下 ESRI という) は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して 2001 年 1 月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP (国内総生産) 統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系 (SNA : System of National Accounts) の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報 (QE : Quarterly Estimates)、年度毎の確報を公表、さらには、CI (景気動向指数) 等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。